

さっぽろ雪まつり - 福祉ボランティアハウスの取り組みについて

福祉ボランティアハウスでは、さっぽろ雪まつりの来場者を支援するサービスを提供しています。サービスには、モビリティサポート、手話通訳、英語でのガイダンスと情報が含まれ、迷子になった子供たちとその家族の再会をお手伝いします。サービスや設備は、年間を通じて雪まつりの準備をしている地元住民が運営する「手と手」（「ハンド・トゥ・ハンド」）と呼ばれる NPO 法人によって提供されます。

モビリティサポート

手と手は、雪の日用の特別な車椅子と杖を提供します。

車椅子は 2 種類用意されています。ミニスキー付きのタイプはたくさん用意があるため、会場でご利用いただけます。もう 1 つのタイプは、追加のけん引用にバルーンタイヤとチェーンが装備されています。このタイプは 1 台しか用意がないため、予約が必要です。車いす利用者は、手と手がデザインした全身用ジップフロントパーカーのヌクヌクを借りることもできます。雪や氷の上で安定するように先端にアイスピックがついた特別な杖も貸してもらえます。

そして雪まつり来場中の車椅子ユーザーに同行するボランティアを派遣します。派遣されたボランティアは、後方支援に加えて雪まつりへの同行や情報提供をします。

場所と予約

福祉ボランティアハウスは、大通公園のメイン会場である 6 丁目にあります。備品の予約やその他のサポートは、事前にオンラインで行うか、福祉ボランティアハウスで午前 9 時から午後 9 時まで直接行うことができます。また、札幌駅の近くのホテル、大通、すすきのの会場に備品を届けることも可能です。設備やサービスは無料で利用いただけます。